

耐震診断の方法と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の指標

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の指標		
	I	II	III
	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990 年版）	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_t \cdot SD < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_t \cdot SD \leq 1.25$
			$1.25 < C_t \cdot SD$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001 年版）	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot SD < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot SD$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」及び「第 3 次診断法」（1997 年版）	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_t \cdot SD < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_t \cdot SD$
一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$Q_u/\alpha \cdot Q_{un} < 0.5$	$0.5 \leq Q_u/\alpha \cdot Q_{un} < 1.0$	$1.0 \leq Q_u/\alpha \cdot Q_{un}$ かつ $G I_s < 1.0$
			$1.0 \leq G I_s$

※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

Z：地域指標で、その地域の地震活動度や想定する地震動の強さによる補正係数
G：地盤指標で、表層地盤の増幅特性、地形効果、地盤と建物の相互作用などによる補正係数
U：用途指標で、建物の用途などによる補正係数

建物の用途別の耐震診断結果と改修等の予定

平成28年10月31日 公表
令和7年10月1日 更新

【小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	坂出市立坂出中学校 教室棟	坂出市小山町318	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_o=1.39$ $C_t \cdot S_D=0.37$	耐震改修済		
2	国立大学法人 香川大学教育学部附属坂出中学校 教室棟	坂出市青葉町1-7	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.35$ $C_t \cdot S_D=0.78$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
3	観音寺市立観音寺中学校管理 教室棟	観音寺市八幡町二丁目10-7	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.37$ $C_t \cdot S_D=0.54$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
4	三豊市立麻小学校 校舎棟	三豊市高瀬町上麻3868	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.33$ $C_t \cdot S_D=0.46$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
5	宇多津町立宇多津中学校 既存棟	綾歌郡宇多津町3302	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.31$ $C_t \cdot S_D=0.46$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
6	宇多津町立宇多津小学校 新管理棟	綾歌郡宇多津町815	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.18$ $C_t \cdot S_D=0.73$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
7	琴平町立琴平小学校 校舎棟	仲多度郡琴平町145-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.31$ $C_t \cdot S_D=0.54$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
8	多度津町立多度津小学校 校舎棟	仲多度郡多度津町栄町3丁目69-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_o=1.39$ $C_t \cdot S_D=0.79$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる 用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	国立大学法人 香川大学医学部附属病院 西病棟	木田郡三木町大字池戸1750-1	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)【鉄骨が充腹材の場合】	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_t \cdot SD=0.45$	耐震性あり		Z=1.0 G=1.0 U=1.0
2	国立大学法人 香川大学医学部附属病院 外来・中央診療棟	木田郡三木町大字池戸1750-1	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{tu} \cdot SD=0.80$	耐震性あり		Z=1.0 G=1.0 U=1.0

【百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる 用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	丸亀ナナイロ	丸亀市大手町3丁目10-20	物品販売店	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{tu} \cdot SD=0.55$	耐震改修済		Z=0.9 G=1.0 U=1.0
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」	$I_s=0.61$ $q=1.19$	耐震改修済		

【自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のため施設】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる 用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	丸亀市営福島駐車場	丸亀市福島町220番地	駐車場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」	$I_s=0.29$ $q=1.15$	解体	検討中	

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる 用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部 分の地震に対する安 全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	香川県三豊合同庁舎	観音寺市坂本町7丁目3-18	庁舎	一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	GIs=1.32	耐震改修済		